

2016国民平和大行進NEWS

2016年7月21日(木) 第1号
発行：しまね労連 0852-31-3396

県内行進(7月30日まで)に参加しましょう!

昨日(20日)県内平和行進スタート! 被爆者と共に核兵器廃絶全面禁止・廃絶国際署名を広げよう!



【7月20日 鳥取県平和行進の方々 米子錦海県境にて】

昨日、7月20日、国民平和大行進の富山～広島コースが島根県に入り、県内行進がスタートしました!

平和行進は、1958年6月に始まり、以来57年、毎年全国で続けられています。今年は広島・長崎の被爆から71年目の夏を迎えます。いま、世界は、核兵器廃絶に向けて大きく動いています。オバマ大統領が、現職大統領としては初めて広島の被爆地を訪問するという大きな成果です。被爆者が訴える新しい「核兵器禁止・廃絶国際署名」の力で、核兵器の全面禁止を実現しましょう。いま日本政府に求められているものは、戦争放棄の憲法9条と非核三原則を守り、核兵器全面禁止・廃絶の先頭に立つことです。安倍政権が進める「戦争する国づくり」をやめさせよう。

7月20日、鳥取県との引き継ぎ式には、総勢30人が参加しました。

7月20日の参加者(13名)

県原水協4、生健会1、県教組2、生協労組2、
安来原水協1、全労働1、しまね労連2



【鳥取県原水協・太田事務局長】

鳥取県の行進には小学生から88歳まで幅広い年齢層の方が歩きました。智頭町では2時間町を練り歩き50筆の署名集め、気高町では8万円のカンパを集めるなど、それぞれの土地柄を生かした取り組みができました。すべての市町村から参加を得られ、行進はまさに皆に支えられたものと思っています。



これはなくさなければなりません。平和行進が続くよう頑張っていきたいと思っています。

【島根県平和行進実行委員会・小坂委員長】

今は8月6日とか9日とか第5福審丸とか知らない若い世代がたくさんいます。しかし、毎年、私たちが歩くことで次の世代につなげていきたいと思っています。日本は3回被爆を経験してきました。その怒りをずっとこれからも未来の方に伝えていき、世界から核兵器がなくなるようにしていきたいと思っています。島根県には原発があります。

本日(21日)の行進

- 午前 安来・荒島、安来市役所訪問
- 午後 下意東、揖屋、東出雲町内

明日(22日)の行進

- 午前 東出雲、出雲郷、竹矢
- 午後 県庁&松江市役所訪問
- 夕方 プラバホール→大手前